

平成 17 年 10 月 11 日

フロン回収破壊法の第一種特定製品に関する報告

(社) 日本フランチャイズチェーン協会

この報告は 本年 9 月経済産業省・環境省よりの上記に関するアンケートを JFA 加盟 13 社の CVS チェーンに行い取りまとめた内容であります。

JFA 加盟 13 社は 約 40,500 店をチェーン展開しており カバー率は約 95%。一店舗あたり平均延べ床面積は 約 175 m²、設置設備は標準的に別置型冷凍機 (チルドケース・ウォークインケース (4 面ドア) 内蔵型冷凍機 オープンアイスケース (大型・小型) 冷凍リーチインケース (一面 1 ドア) その他 栄養ドリンクケースなどのほか空調機を含め 使用冷媒量 (直近標準店舗 R410a) 一店舗あたり 約 35 kg となっている。

1. 現在 80%程度が HCFC(R22)であり、各社とも整備・廃棄については、設備機器メーカーとのメンテナンス契約に基づき回収・破壊処理を委託している。
年 4 回程度の定期点検でガス漏れのチェックを行い大気への放出を防止している。
2. 2004 年 10 月以降 HFC410a (業務用エアコン) 404a (ショーケース用冷凍機) の新冷媒で対応、旧店舗においては建替え・改装時には新冷媒で対応。
旧冷媒の R22 については 設備撤去時にメンテナンス契約先となる冷設メーカーにより回収を行い、破壊処理を行っている。
3. 特定フロンについては 上記のように導入メーカーとメンテナンス契約に基づき回収・破壊処理を進めるが その単価が 4,600 円/kg となり、一店舗あたり約 150 千円の費用が掛かる。インフラの整備とコスト低減が必要。
4. 2020 年に旧冷媒が全廃となるため、各社とも計画的な設備投資計画に基づき新冷媒の使用に転換している。また、自然冷媒の検討も行っている。CO₂ を基本とした仕組みで自然冷媒をテスト実施しているチェーンもある。

以上